

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート(結果)

基本施策	基本施策	取組状況 (PD)	課題捉方 (C)	改善方法 (A)	総合評価
施策(1)広報・広聴活動の充実	・広報紙・ホームページをはじめ、おうらお知らせメール、防災行政無線を活用した屋外広報だけでなく、SNSに関する調査・研究・導入を進めるなど、多様な広報手段を活用し、効果的な広報活動を展開します。	37.50点	18.36点	19.53点	75.39点
施策(1)広報・広聴活動の充実	・地区座談会やみんなの講座、町民アンケートなど、多様な広聴手段を研究し、町民の意見を広く伺う機会を充実させます。	25.00点	15.24点	16.80点	57.04点
施策(2)町政への参画機会の充実	・各種計画の策定などに際し、パブリックコメント制度の活用をはじめ、説明会の実施や審議会・委員会を設置するなど、幅広く町民の参画を促す機会の創出を推進します。	37.50点	17.97点	19.53点	75.00点
施策(3)まちづくりの人材育成	・まちづくりに関する情報提供や学習機会を提供することで、町民一人ひとりのまちづくりへの意識の向上を図るとともに、まちづくりを支えるNPO・ボランティア団体などの育成と活動支援に努めます。	37.50点	21.10点	18.75点	77.35点
施策(4)協働のまちづくり活動の推進	・様々な分野における公共的課題の解決や、町民の自主性と提案に基づいたまちづくり活動を推進していくため、NPO・ボランティア団体などに対し、活動に関する情報の相互共有や相談窓口の機能強化を図ります。また、事業内容に応じた費用を補助する「協働のまちづくり事業補助制度」などの支援の充実を図るとともに、協働事業の目的・内容・実施状況及び結果を公開し、常に事業の改善が図れるよう努めます。	37.50点	18.36点	20.70点	76.56点
施策(5)行政区活動への支援	・地域活動を充実させるため、活動機会の紹介や行政及び行政区相互の情報共有を図るとともに、必要に応じた助言・指導や地域リーダーの養成研修を行います。また、自治会組織の運営が円滑に運ぶよう、法人格取得(認可地縁団体)に対する支援を行います。	50.00点	16.80点	18.36点	85.16点
施策(6)地域コミュニティ活動の支援	・地域コミュニティ意識の醸成のため、広報紙・ホームページなどを利用した啓発事業を推進するとともに、地域文化活動等の地域づくりに対して助成などの支援に努めます。	37.50点	17.58点	16.02点	71.10点
施策(7)地域集会施設の整備推進	・行政区の活動拠点となる地域集会施設の整備や、地域コミュニティ活動に必要な備品整備の支援を図ります。	50.00点	20.70点	21.49点	92.19点
施策(8)町民コミュニティ活動の推進	・おうら中央公園周辺において、おうら中央多目的広場や建設予定の中央公民館などを利用し、町民の一体感を醸成するための様々な祭りやイベントを企画するとともに、町民が自発的かつ主体的にコミュニティ活動に取り組みやすい環境を創出します。	37.50点	19.53点	18.36点	75.39点
施策(9)行政サービスの近代化・効率化	・電子申請システムなどのインターネットを活用した行政手続きの簡素化については、利用者の利便性だけでなく事務の効率性やコスト面も含めて調査・検討していきます。また、マイナンバー制度の円滑な利用について調査・研究し、町民サービスの向上を図ります。	37.50点	15.24点	15.63点	68.37点
施策(10)行政事務の近代化・効率化	・行政事務の効率化を図るため、国や県、近隣市町などと歩調を合わせながら、文書管理や決裁、地理情報などの業務の電子化を推進するとともに、セキュリティ水準の向上や災害に強い基盤を構築させるため、基幹系(住民情報・税情報等)システムに続き、情報系(グループウェア・財務会計等)システムのクラウド化を推進します。	37.50点	18.75点	18.36点	74.61点
施策(11)情報セキュリティ体制の強化	・本町の情報資産について適切に保護・管理するため、「邑楽町情報セキュリティポリシー」に基づき、物理的対策や人的対策及び技術的対策を推進します。また、日々新たに出現する脅威に対しては、「邑楽町情報セキュリティポリシー」の見直しも視野に入れ、より一層の強化に取り組めます。	37.50点	19.92点	20.70点	78.12点
施策(12)情報教育の推進	・学校での情報教育の推進はもとより、公民館をはじめ様々な機会を捉えたパソコン教室の開催など、情報教育の推進を図ります。	25.00点	15.63点	14.06点	54.69点
施策(13)効率・効果的な行政運営の確立	・BPRの手法やICTの活用など、新たな業務改善方法を研究していくことで、町民サービスに直結する窓口業務の見直しや効率化を図り、時代に対応した行政サービスに取り組んでいきます。	37.50点	16.80点	17.58点	71.88点
施策(13)効率・効果的な行政運営の確立	・社会教育事業を効率よく推進するため、社会教育施設間の連携強化はもとより、事業の統合や事務の効率化を図ります。	37.50点	17.97点	20.70点	76.17点
施策(14)機能的な組織の構築と職員の資質向上	・時代の変化に適応した組織機構とするため、機構改革や人員配置について検証を進めるとともに、窓口・電話対応の接遇研修など計画的な職員研修の充実による政策能力等の育成と人事・定員管理を推進します。	25.00点	16.02点	16.02点	57.04点
施策(14)機能的な組織の構築と職員の資質向上	・人事評価制度を活用して、職員の仕事に対する意欲、向上心、達成感を引き出し、意識改革を図ります。職員一人ひとりの意欲を向上させることにより、組織全体を活性化させます。	25.00点	17.58点	17.58点	60.16点
施策(15)計画的な事業の執行と行政評価の推進	・総合計画等の長期計画に基づき、選択と集中による計画的な事業を推進するとともに、基本計画と予算編成の連動を図ります。また、行政評価システムの導入による検証と行政評価を推進します。	50.00点	19.53点	19.53点	89.06点

施策(16)公共施設の適正な管理	・人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、「公共施設等総合管理計画」を策定し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現します。	50.00点	21.10点	17.97点	89.07点
施策(17)民間活力の活用	・行政事務や施設管理のあり方について検証を行い、効率・利便性を考慮したうえで、定型業務の民間委託や公の施設の指定管理者制度などの活用を研究していきます。また、PPP／PFIなどの手法を研究し、民間活力の活用を推進していきます。	37.50点	17.58点	16.80点	71.88点
施策(18)計画的な財政運営	・中長期的視野に基づいた継続的な収支均衡と義務的経費や経常的経費の節減、財政状況の分析、補助金の見直しも含めた事務事業の慎重な選択など健全な財政運営を推進します。また、財政状況を定期的に公開し透明性の高い予算執行に努めます。	25.00点	14.06点	15.24点	54.30点
施策(18)計画的な財政運営	・地方公会計の整備を図ることにより、資産や債務の正確な把握と管理を行い、予算編成や決算分析に活用していくとともに、財務情報の分かりやすい開示に努めます。	25.00点	13.67点	15.63点	54.30点
施策(18)計画的な財政運営	・下水道事業の経営基盤強化や財政マネジメントの向上に向けて、公営企業会計の導入について調査・研究していきます。	12.50点	15.63点	13.67点	41.80点
施策(19)財源(歳入)の確保	・適正な税の賦課に努めるとともに、個人住民税の特別徴収一斉指定及び口座振替の推奨など納税者の利便性を確保し収納率の向上を図ります。また、長期滞納者や高額滞納者などについては、納税への理解促進を図るとともに、「群馬県東部地区不動産合同売却」などを活用し適切な滞納処分を行います。	50.00点	18.36点	17.19点	85.55点
施策(19)財源(歳入)の確保	・国や県の資金の導入、有利な地方債の活用等を図り、一般財源の充当を抑制します。	25.00点	13.28点	17.19点	55.47点
施策(19)財源(歳入)の確保	・広告事業などによる収入の確保を図ります。	50.00点	20.31点	20.70点	91.01点
施策(19)財源(歳入)の確保	・土地利用計画の調整を行い、新たな産業団地の造成を推進するとともに、雇用創出や産業振興に大きく寄与する企業誘致等を推進します。	50.00点	16.80点	17.58点	84.38点
施策(20)公有財産の適正管理	・公有財産については、適正な管理と利用に努め、未利用の普通財産については、処分または貸付け等の有効活用を図ります。	25.00点	16.41点	18.75点	60.16点
施策(20)公有財産の適正管理	・公金については、最も有利かつ確実な運用に努めるとともに、適正で効率的な出納の執行や物品などの管理を行います。	25.00点	16.02点	15.63点	56.65点
施策(21)経費の削減と使用料の適正化	・県内市町村と電子入札システムを共同利用し、事務効率の向上や運用経費の抑制を図ります。また、公平で競争性の高い入札を推進します。	37.50点	21.49点	21.49点	80.48点
施策(21)経費の削減と使用料の適正化	・庁舎内の郵送料、電話料、電気料等事務的経費の節減を図るため、職員のコスト意識の向上や消耗品などの管理徹底を図ります。	37.50点	17.58点	17.97点	73.05点
施策(21)経費の削減と使用料の適正化	・各種使用料や手数料を見直し、受益者負担を基本とした料金体系の整備を検討します。	50.00点	22.66点	21.88点	94.54点
施策(22)事務組合の推進と強化	・可燃ごみ処理施設の広域化など既存の一部事務組合を構成する市町との連携を強化するとともに、共通の行政課題への対応や、さらなる事務の効率化に向けて、効果的な共同処理のあり方など、事務組合の充実・強化に努めます。	37.50点	15.24点	14.45点	67.19点
施策(23)広域協議会などによる連携	・公共交通や都市基盤整備といった広範囲にわたり、本町だけでは解決できない課題については、既存の広域のあり方に捉われず、周辺市町及び国・県等と連携して要望活動を含めた整備促進を促します。	37.50点	19.53点	18.75点	75.78点
施策(23)広域協議会などによる連携	・両毛地域の公共施設の相互利用をさらに促進するなど、広域協議会や広域同盟会の事務事業の充実を図ります。	50.00点	16.80点	18.36点	85.16点

/50点 /25点 /25点 /100点

平均

36.79点 17.70点 17.97点 72.46点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち			基本方針	基本方針_1_情報共有と町民参画の推進	
	施策の方向性	施策_1_広報・広聴活動の充実			担当課	企画課	
P L A N	取組内容	・広報紙・ホームページをはじめ、おうらお知らせメール、防災行政無線を活用した屋外広報だけでなく、SNS に関する調査・研究・導入を進めるなど、多様な広報手段を活用し、効果的な広報活動を展開します。					
	改革項目名称	新たな広報手段(媒体)の導入					
	期待される効果	広報手段の拡充によりユーザーの拡大が期待できる					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・新たな媒体の研究。 ・ケーブルテレビの邑楽町での放送開始に向けた準備。 ・ケーブルテレビとの安全安心に係る協定の締結。	・邑楽町の情報番組の収録、放送開始。 ・防災・防犯の情報の配信。	・配信する情報の見直し。 ・その他イベント等のケーブルテレビへの情報提供の強化。	・配信する情報の見直し。 ・その他イベント等のケーブルテレビへの情報提供の強化。	・配信する情報の見直し。 ・その他イベント等のケーブルテレビへの情報提供の強化。	
	計画段階	研究		改革		改善	
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	・ケーブルテレビにおける町の情報発信番組のスケジュールの検討を行い、割り振りを行った。 ・ケーブルテレビと安全安心に係る協定を締結した。				75
							係数
							50
							点数
37.50点							
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			推進本部評価欄		
		情報発信番組のスケジュールの検討において、時期的なイベントのバランスや、担当課のバランスに偏りが出てしまった。			課題の捉え方	評価指数	
					A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 10 C50点 2 D25点 1 E0点 0	73.44	
						係数	
						25	
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数
		平成29年度より放送開始のため、一年間の実際の収録や放送のサイクルを見たうえで、広報委員等を通じてスケジュールの調整を図りたい。			A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 10 C50点 2 D25点 0 E0点 0	78.13	
						係数	
						25	
						点数	
19.53							
評価	個別点数	37.50 ／50点	18.36 ／25点	19.53 ／25点	＝	総合評価	75.39点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち			基本方針	基本方針_1_情報共有と町民参画の推進	
	施策の方向性	施策_1_広報・広聴活動の充実			担当課	企画課	
PLAN	取組内容	・地区座談会やみんなの講座、町民アンケートなど、多様な広聴手段を研究し、町民の意見を広く伺う機会を充実させます。					
	改革項目名称	各種計画等に向けた町民アンケートの拡充					
	期待される効果	幅広い意見を聴取することができ、町政への反映も期待できる					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	前回アンケート内容や集計結果をまとめ、次回アンケート実施時に、より効果的なアンケートになるよう研究する。	近隣自治体のアンケート動向を注視、情報収集し町民意見を反映しやすいアンケート方法・内容を研究する。	研究成果をまとめ、効率・効果的なアンケート用紙を作成する。	・町民アンケートの内容および対象者の拡充を図る。	・第六次総合計画（後期）へ向け、アンケート結果の精査。	
	計画段階	研究		研究	研究	改革	改善
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		C 一部取り組んでいる	総合計画のアンケート結果を他計画等でも活用できるようデータ整理を行った。その他、アンケート手法など事例の研究に努めた。				50
							係数
							50 点数 25.00点
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			課題の捉え方	評価指数	
		・アンケート方法について、関係各課及び機関からの情報収集に努めたが、次回アンケート方法や内容の反映には至っていない。	A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 6 C50点 5 D25点 3 E0点 0	60.94			
					係数		
					25 点数 15.24		
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方	評価指数	
		町民ニーズや時代のニーズだけでなく、近隣自治体や先進自治体の取組も参考にし、アンケート方法について広く研究に努める。	A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 11 C50点 2 D25点 2 E0点 0	67.19			
					係数		
					25 点数 16.80		
評価	個別点数	25.00 ／50点	15.24 ／25点	16.80 ／25点	＝	総合評価	57.04点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち			基本方針	基本方針_1_情報共有と町民参画の推進	
	施策の方向性	施策_2_町政への参画機会の充実			担当課	企画課	
PLAN	取組内容	・各種計画の策定などに際し、パブリックコメント制度の活用をはじめ、説明会の実施や審議会・委員会を設置するなど、幅広く町民の参画を促す機会の創出を推進します。					
	改革項目名称	パブリックコメント手続き制度の充実					
	期待される効果	各種計画の策定において町民が興味を持って参加する機会を創出できる					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	パブリックコメント手続き制度の運用開始	寄せられた意見や町の見解などの公表方法の再検討	パブリックコメント手続き要綱の見直し	寄せられた意見や町の見解などの公表方法の再検討	パブリックコメント手続き要綱の見直し	
	計画段階	改革 研究 改善 研究 改善					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	パブリックコメント手続制度の運用開始に伴い、5つの案件を取り扱った。ホームページ等で意見や提案を募集し、寄せられた意見等に対して実施機関の考え方をホームページ上で公表した。				75
							係数
							50
							点数
37.50点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。		課題の捉え方	評価指数		
		寄せられた意見等をホームページにて公表するにあたり、担当課からの連絡が遅く、募集期間終了後から公表までに時間を要することがあった。		A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 7 C50点 4 D25点 1 E0点 0	71.88		
					係数		
					25		
					点数		
17.97							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。		改善方法の示され方	評価指数		
		パブリックコメントに関する日程等について、担当課との連絡調整を密に取れるよう、情報の共有化に努める。		A～Eの5段階評価 A100点 5 B75点 8 C50点 3 D25点 0 E0点 0	78.13		
					係数		
					25		
					点数		
19.53							
評価	個別点数	37.50 ／50点	17.97 ／25点	19.53 ／25点	＝	総合評価	75.00点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち			基本方針	基本方針_2_協働のまちづくりの推進	
	施策の方向性	施策_3_まちづくりの人材育成			担当課	生涯学習課	
P L A N	取組内容	・まちづくりに関する情報提供や学習機会を提供することで、町民一人ひとりのまちづくりへの意識の向上を図るとともに、まちづくりを支えるNPO・ボランティア団体などの育成と活動支援に努めます。					
	改革項目名称	社会教育事業におけるまちづくりの人材育成の推進					
	期待される効果	町民一人ひとりのまちづくりへの意識の向上及びNPO・ボランティア団体などの育成・活動支援					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・社会教育施設の学習機会・情報提供内容の検討及び研究 ・NPO・ボランティア団体などの調査	・中央公民館を核とした社会教育施設間の学習機会・情報提供内容の連携・協力の検討 ・NPO・ボランティア団体などの調査・研究	・中央公民館を核とした社会教育施設の教室・講座等を広報誌及びホームページ等で募集する。 ・NPO・ボランティア団体などへの活動支援に向けた研究	・社会教育施設の教室・講座等でアンケート調査を行い、見直しを検討する ・NPO・ボランティア団体の活動に向けた勉強会の実施	・社会教育施設の教室・講座等のさらなる見直しを検討する ・NPO・ボランティア団体の活動支援のさらなる見直しを検討する	
	計画段階	研究 研究 改革 改善 改善					
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	館長・係長会議やJOY会議(担当者レベルの事業等広報についての調整会議)を定期的に開催し、その中の議題として情報提供内容についての検討を行ってきた。 また、中央公民館開館後のボランティア組織の基礎となる組織(中央公民館開館準備事業実行委員会)を立ち上げ、町民と行政と一緒に事業に取り組む事業に着手した。				75
							係数
							50
							点数
37.50点							
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			推進本部評価欄		
		中央公民館の建設に着手したことから、目前の課題と言うよりは中央公民館開館後を見据えて町全体の事業のあり方を検討し大局的な方向性を見いだしていく必要がある。			課題の捉え方	評価指数	
					A～Eの5段階評価 A100点 9 B75点 4 C50点 3 D25点 0 E0点 0	84.38	
						係数	
						25	
点数							
21.10							
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		
		継続的、また着実に課題の検討を進め、できるだけ早期に方向性を出すと共に、その実現に向けた準備を進めていく。			評価指数		
					A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 11 C50点 1 D25点 1 E0点 0	75.00	
						係数	
						25	
点数							
18.75							
評価	個別点数	37.50 ／50点	21.10 ／25点	18.75 ／25点	＝	総合評価	77.35点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち			基本方針	基本方針_2_協働のまちづくりの推進	
	施策の方向性	施策_4_協働のまちづくり活動の推進			担当課	企画課	
PLAN	取組内容	・様々な分野における公共的課題の解決や、町民の自主性と提案に基づいたまちづくり活動を推進していくため、NPO・ボランティア団体などに対し、活動に関する情報の相互共有や相談窓口の機能強化を図ります。 また、事業内容に応じた費用を補助する「協働のまちづくり事業補助制度」などの支援の充実を図るとともに、協働事業の目的・内容・実施状況及び結果を公開し、常に事業の改善を図れるよう努めます。					
	改革項目名称	協働のまちづくり事業新要綱策定					
	期待される効果	町民と行政が適切な役割と責任を分担して、連携・協力するまちづくりが実現される。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・活動団体の募集をはかり、官民での協働事業を実施する。	・活動団体の募集をはかり、官民での協働事業を実施する。 ・前年度実績を役場ロビー、ホームページ等で公表する。 ・H29年度で現要綱が失効するため、新要綱の調査・研究。	・新要綱を策定し、新たな協働の考え方のもと、活動団体を募集。 ・前年度実績を役場ロビー、ホームページ等で公表する。	・新制度をより充実させるため、問題点を改善し、活動団体を募集。 ・前年度実績を役場ロビー、ホームページ等で公表する。	・新制度をより充実させるため、問題点を改善し、活動団体を募集。 ・前年度実績を役場ロビー、ホームページ等で公表する。	
	計画段階	改善 研究 改革 改善 改善					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	平成28年度は申請団体が6件(昨年度から1件増加)となったが、そのうち1件が事業中止となってしまった。その他の事業は計画どおり事業完了し、様々な分野で協働が図られ、町民との協働のまちづくりの醸成につながった。				75
							係数
							50
						点数	
						37.50点	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。				推進本部評価欄	
		申請期日直前に申請した団体について、具体的事業内容の相談や担当課と調整する時間が著しく少なくなってしまう、情報共有の乏しさが垣間見えた。				課題の捉え方	評価指数
						A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 7 C50点 5 D25点 0 E0点 0	73.44
							係数
						25	
						点数	
						18.36	
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方	
		申請相談時に担当課となりうる課を含めて申請予定団体と協議を行うなど、事業の明確化を図った上で申請をするようなスキームを再徹底する。 また、具体的課題を行政が提示し、その課題を町民団体と共に解決していくような「行政提案型協働のまちづくり」など具体的事業計画の作成を行政が担い、町民団体が事業主体として行っていく事業も研究していく。				A～Eの5段階評価 A100点 6 B75点 9 C50点 1 D25点 0 E0点 0	82.81
							係数
							25
						点数	
						20.70	
評価	個別点数	37.50 ／50点	18.36 ／25点	20.70 ／25点	＝	総合評価	76.56点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち			基本方針	基本方針_3_地域コミュニティ活動の推進	
	施策の方向性	施策_5_行政区活動への支援			担当課	総務課	
PLAN	取組内容	・地域活動を充実させるため、活動機会の紹介や行政及び行政区相互の情報共有を図るとともに、必要に応じた助言・指導や地域リーダーの養成研修を行います。また、自治会組織の運営が円滑に運ぶよう、法人格取得(認可地縁団体)に対する支援を行います。					
	改革項目名称	行政区相互の情報交換の実施					
	期待される効果	他の行政区の状況を知ることによる行政区運営の問題点の改善					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・過去に行政区長等から相談を受けた事案等をまとめる。 ・まとめた事案等を基に各行政区に対してアンケートを実施する。	・アンケート結果をまとめ、各区長に配布する。 ・まとめたアンケート結果を基に区長会等で情報交換を行う。	・アンケートの結果及び情報交換を踏まえて他の行政区を参考に改善した点等を調査する。	・アンケートの結果及び情報交換を踏まえて他の行政区を参考に改善した点等を調査する。 ・新たに発生した事案等について他の行政区の状況を聞いてみたい事項を調査する。	・再度アンケートを行い、結果をまとめ、各区長に配布する。	
	計画段階	研究 → 改革 → 改善 → 改善 → 改革					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		A 計画どおり取り組んでいる	過去に行政区長等から相談を受けた事案等をまとめ、行政区に対してアンケートを実施した。				100
							係数
							50 点数
							50.00点
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。				課題の捉え方	評価指数
		アンケート項目について、各行政区で考え方が異なる部分もあるため、回答の仕方について各行政区から質問を受けることがあった。				A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 7 C50点 7 D25点 0 E0点 0	67.19
						係数	
						25 点数	
							16.80
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方	評価指数
		できるだけ各行政区の実際の状況が分かるようなかたちでアンケート結果を提供できるよう調整するとともに、今後同様のアンケートを実施する際も項目ごとに必要な説明を入れ、また、疑義に対しては個別に助言する。				A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 7 C50点 5 D25点 0 E0点 0	73.44
						係数	
						25 点数	
							18.36
評価	個別点数	50.00 ／50点	16.80 ／25点	18.36 ／25点	＝	総合評価	85.16点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち			基本方針	基本方針_3_地域コミュニティ活動の推進	
	施策の方向性	施策_6_地域コミュニティ活動の支援			担当課	総務課(企画)	
PLAN	取組内容	・地域コミュニティ意識の醸成のため、広報紙・ホームページなどを利用した啓発事業を推進するとともに、地域文化活動等の地域づくりに対して助成などの支援に努めます。					
	改革項目名称	邑楽町地域集会施設建設事業補助金の限度額の適正化					
	期待される効果	各行政区が地域集会施設を整備する際に受けることができる補助金額の適正化					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・過去の補助金の交付状況を集計する。 ・限度額以上の額の整備を行った行政区の整備内容等を研究する。	・補助金の限度額の適正な額について、協議する。 ・邑楽町地域集会施設建設事業補助金交付要綱の改正案を作成する。	・邑楽町地域集会施設建設事業補助金交付要綱を改正し、補助金限度額の適正化を実施する。	・補助金の申請状況を集計する。	・補助金の申請状況を集計する。 ・申請状況を踏まえ改正後の限度額が適正であるか再度協議する。	
	計画段階	研究		研究	改革	改善	改善
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	過去5年の補助金の交付状況を取りまとめ、補助金を利用して地域集会施設の整備を行った行政区の整備内容等について確認した。				75
							係数
							50
							点数
37.50点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。				推進本部評価欄	
		補助金の適正化を検討するためには、限度額以上の額の整備を行った例だけでなく、それ以外の整備についてもその整備内容等を確認する必要があった。				課題の捉え方	評価指数
						A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 9 C50点 5 D25点 0 E0点 0	70.31
							係数
							25
17.58							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方	
		引き続き、限度額以上の額の整備を行った例以外の整備についてもその整備内容等について整理し、補助金額の適正化について研究していく。				A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 9 C50点 7 D25点 0 E0点 0	64.06
							係数
							25
							16.02
評価	個別点数	37.50 ／50点	17.58 ／25点	16.02 ／25点	＝	総合評価	71.10点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち			基本方針	基本方針_3_地域コミュニティ活動の推進	
	施策の方向性	施策_7_地域集会施設の整備推進			担当課	企画課(総務)	
PLAN	取組内容	・行政区の活動拠点となる地域集会施設の整備や、地域コミュニティ活動に必要な備品整備の支援を図ります。					
	改革項目名称	地区集会所施設・備品充実事業					
	期待される効果	地域コミュニティ活動に必要な備品等の整備を行うことでより住民活動の一助とする。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	地域コミュニティ活動に活用する備品等の整備を必要としている行政区を抽出後、該当工事(備品)及び金額の精査後、予算内で効率的な整備実施。	備品等の整備を必要としている行政区を抽出後、該当工事(備品)及び金額の精査後、予算内で効率的な整備実施。	備品等の整備を必要としている行政区を抽出後、該当工事(備品)及び金額の精査後、予算内で効率的な整備実施。	備品等の整備を必要としている行政区を抽出後、該当工事(備品)及び金額の精査後、予算内で効率的な整備実施。	備品等の整備を必要としている行政区を抽出後、該当工事(備品)及び金額の精査後、予算内で効率的な整備実施。	
	計画段階	改革 改善 改善 改善 改善					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		A 計画どおり取り組んでいる	魅力あるコミュニティ助成事業及び一般コミュニティ助成事業の2つの補助金を活用し、2つの行政区に対して、総事業費4,244,047円に対して4,223,000円の備品整備の補助を行った。				100
							係数
							50
推進本部評価欄							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			課題の捉え方	評価指数	
		2つの助成事業を活用することにより住民団体の負担が非常に少なく備品整備が行うことができる。しかし、申請行政区が多数に及ぶため、優先順位など行政区選定が課題となっている。			A～Eの5段階評価 A100点 6 B75点 9 C50点 1 D25点 0 E0点 0	82.81	
						係数	
						25	
20.70							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方	評価指数	
		公文書の保存年限の問題もありますが、過去の助成事業の活用状況を再整理し、未活用行政区を最優先にするとともに活用数の少ない行政区を優先し、公正公平性を図っていく。			A～Eの5段階評価 A100点 7 B75点 9 C50点 0 D25点 0 E0点 0	85.94	
						係数	
						25	
21.49							
評価	個別点数	50.00 ／50点	20.70 ／25点	21.49 ／25点	＝	総合評価	92.19点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_1_町民と歩む協働のまち			基本方針	基本方針_3_地域コミュニティ活動の推進	
	施策の方向性	施策_8_町民コミュニティ活動の推進			担当課	商工振興課	
P L A N	取組内容	・おうら中央公園周辺において、おうら中央多目的広場や建設予定の中央公民館などを利用し、町民の一体感を醸成するための様々な祭りやイベントを企画するとともに、町民が自発的かつ主体的にコミュニティ活動に取り組みやすい環境を創出します。					
	改革項目名称	中央公園一帯丸ごとお祭り広場推進計画					
	期待される効果	まちづくりの主体者を育成するとともに、町民のコミュニティ活動の推進につながる。さらに、町内外から多くの人たちを呼び込むことができる。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・おうら祭りを中央多目的広場で開催する。・産業祭を昨年に引き続き中央多目的広場で開催する。・光のページェントHiKARiMiRAiを中央多目的広場及びシンボルタワーで開催する。・中央多目的広場の民間団体等の活用について研究・PRしていく。	・中央公民館完成後を想定し、中央公園や中央多目的広場と一体となった活用方法を研究する。・おうら祭り、産業祭、光のページェントHiKARiMiRAiを中央多目的広場を中心に開催していくとともに、町民の力を取り入れたイベント作りについて研究試行していく。・町民を中心とした民間団体等の活用について研究・PRしていく。	・完成した中央公民館をイベントで活用する。・従来から実施しているおうら祭り、産業祭、光のページェントHiKARiMiRAiに町民の力をより多く取り込んでいくものとする。・民間団体や町民の方々の自主企画イベントを実施する。	・おうら祭りを、中央多目的広場、中央公園、中央公民館をフルに活用して実施する。・産業祭や光のページェントHiKARiMiRAiを町民とともに作り上げていく。・民間団体や町民の方々の自主企画のイベントを実施し、住民の主体的な活動を推進していく。	・31年度の改革点を評価検証し、よい点や改善点などの洗い出しを行う。・評価検証結果に基づいて、おうら祭りや産業祭、光のページェントHiKARiMiRAiなどを実施していくとともに、町民の自発的かつ主体的な取り組みを重点目標として取り込んでいく。	
	計画段階	研究 研究 改善 改革 改善					
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	・おうら祭りを中央多目的広場で開催した。 ・産業祭を昨年に引き続き中央多目的広場で開催した。 ・光のページェントHiKARiMiRAiを中央多目的広場及びシンボルタワーで開催した。				75
							係数
							50
							点数
						37.50点	
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。				推進本部評価欄	
		・おうら祭りを初めて中央多目的広場で開催したが、会場レイアウトや交通規制等、全て変更となったので、準備段階が大変だった。・産業祭では、季節的に西風が吹き出す頃になる。案の定、当日大風の日となり、出店者は大変だった。・光のページェントHiKARiMiRAiは、準備・後片付けに大変な労力を取られてしまい、職員の負担が多かった。				課題の捉え方	評価指数
						A～Eの5段階評価 A100点 6 B75点 6 C50点 4 D25点 0 E0点 0	78.13
							係数
						点数	
						19.53	
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方	評価指数
		・おうら祭りについては、28年度の経験を踏まえ、より参加しやすい祭りにしていく。・産業祭については、会場の問題となるので、どうにもならない。会場を庁舎南の駐車場に戻すことも考えられるが、今後慎重なる検討が必要になってくる。・光のページェントHiKARiMiRAiでは、住民を巻き込んだ準備・後片付けの方法を考えていきたい。				A～Eの5段階評価 A100点 5 B75点 5 C50点 6 D25点 0 E0点 0	73.44
							係数
							25
							点数
						18.36	
評 価	個別点数	37.50	19.53	18.36	≡	総合評価	75.39点
		／50点	／25点	／25点			／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_4_情報通信技術 ICT の推進	
	施策の方向性	施策_9_行政サービスの近代化・効率化			担当課	企画課	
PLAN	取組内容	・電子申請システムなどのインターネットを活用した行政手続きの簡素化については、利用者の利便性だけでなく事務の効率性やコスト面も含めて調査・検討していきます。また、マイナンバー制度の円滑な利用について調査・研究し、町民サービスの向上を図ります。					
	改革項目名称	子育てワンストップサービスの運用開始(マイナンバーカード利用)					
	期待される効果	子育て世代における役場への各種申請、手続きの省力化が図れる。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・サービス運用開始のための説明会への参加。 ・サービス提供担当課との情報共有。	・サービスの運用テスト。 ・サービスの本格運用開始。 ・サービスの運用開始のPR。	・近隣市町のサービス提供状況と利用状況の確認。	・提供サービスの精査。 ・提供サービスの拡充	・提供サービスの精査。 ・提供サービスの拡充。 ・その他マイナンバーカードの利用に関する研究。	
	計画段階	研究 → 改革 → 研究 → 改善 → 研究 →					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	群馬県の開催した説明会へ参加し、サービスの運用開始に向けて担当課との情報共有するよう努めた。				75
							係数
							50
							点数
37.50点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			課題の捉え方		評価指数
		説明会の回数が少ない中で、全てには出席できなかったため、必要な情報共有に時間を要してしまった。			A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 7 C50点 6 D25点 2 E0点 0	60.94	
						係数	
						25	
						点数	
15.24							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数
		平成29年度よりサービスが本格運用されるため、今後より一層の情報共有に努め、運用開始に向けた作業について、担当課へ指示を出していきたい。			A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 9 C50点 6 D25点 1 E0点 0	62.50	
						係数	
						25	
						点数	
15.63							
評価	個別点数	37.50 ／50点	15.24 ／25点	15.63 ／25点	＝	総合評価	68.37点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_4_情報通信技術・ICT_の推進	
	施策の方向性	施策_10_行政事務の近代化・効率化			担当課	企画課	
PLAN	取組内容	・行政事務の効率化を図るため、国や県、近隣市町などと歩調を合わせながら、文書管理や決裁、地理情報などの業務の電子化を推進するとともに、セキュリティ水準の向上や災害に強い基盤を構築させるため、基幹系(住民情報・税情報等)システムに続き、情報系(グループウェア・財務会計等)システムのクラウド化を推進します。					
	改革項目名称	基幹系システムおよび情報系システムの共同利用化					
	期待される効果	近隣自治体との共同利用することによるシステム利用にかかるコストの削減が図れる					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・邑楽郡情報研究会における共同利用に向けた調査・研究。 ・自治体クラウドの共同利用に関する協定書の締結。 ・自治体クラウド設置推進委員会の設置。	・基幹系システムは大泉町、千代田町、明和町が先行して運用開始。 ・情報系システムの共同利用に向けた情報収集、調査、研究。	・情報系システムの契約期限満了に伴うリブレース。 ・郡内の情報系システムの動向調査。	・邑楽町における基幹系システムの共同利用の運用開始。	・基幹系システムの共同利用に伴う不具合や改善要望の集約。 ・自治体クラウド推進委員会での協議を通じ、システム供給業者への改善要求。	
	計画段階	研究		研究		研究	改革
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	郡情報研究会において基幹系システムの共同利用に向けての会議を5回開催され全てに出席。また、自治体クラウドの共同利用に関する協定書の締結を行った。				75
							係数
							50
							点数
37.50点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			推進本部評価欄		
		参加団体内で既存システムの納入業者、契約期間、詳細な仕様などが異なるため、すり合わせに多くの時間を要した。			課題の捉え方	評価指数	
					A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 9 C50点 2 D25点 1 E0点 0	75	
						係数	
						25	
18.75							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		
		平成31年度に控えた基幹系システムの共同利用の導入に向けて、先に導入した自治体からの情報提供を積極的に受け、当町の導入がスムーズに行えるよう努める。			A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 7 C50点 5 D25点 0 E0点 0	73.44	
						係数	
						25	
						18.36	
評価	個別点数	37.50	18.75	18.36	＝	総合評価	74.61点
		／50点	／25点	／25点			／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_4_情報通信技術 ICT_の推進	
	施策の方向性	施策_11_情報セキュリティ体制の強化			担当課	企画課	
PLAN	取組内容	・本町の情報資産について適切に保護・管理するため、「邑楽町情報セキュリティポリシー」に基づき、物理的対策や人的対策及び技術的対策を推進します。また、日々新たに出現する脅威に対しては、「邑楽町情報セキュリティポリシー」の見直しも視野に入れ、より一層の強化に取り組めます。					
	改革項目名称	群馬県セキュリティクラウドへの接続					
	期待される効果	群馬県による外部接続の一元管理にともない、より一層のセキュリティ強化が図れる					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・情報暗号化システムの導入。 ・セキュリティ強化の導入。 ・県セキュリティクラウドへの接続準備。	・県セキュリティクラウドへの接続、運用開始。	・共用開始後のシステムの不具合、ユーザーの意見等の集約。 ・システム構築業者への改善要望。 ・群馬県への改善要望。	・運用中の不具合、ユーザーの意見等の集約。 ・システム構築業者への改善要望。 ・群馬県への改善要望。	・運用中の不具合、ユーザーの意見等の集約。 ・システム構築業者への改善要望。 ・群馬県への改善要望。	
	計画段階	研究		改革	改善	改善	改善
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	・情報暗号化システムを導入し、職員への説明会を行った。 ・セキュリティ強化(ネットワークの分離等)を導入し、職員への説明会を行った。				75
							係数
							50
							点数
37.50点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			推進本部評価欄		
		情報暗号化システム、セキュリティ強化の運用開始後の職員からの質問やトラブルに対し、業者の対応を必要とする事案に時間を要してしまうことがあった。	課題の捉え方		評価指数		
			A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 11 C50点 1 D25点 0 E0点 0	79.69			
				係数			
				25			
点数							
19.92							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数
		今後も、職員からの質問等に対して、業者の対応が必要な場合が想定されるが、より迅速な対応を心がけ、似たような症状を取りまとめて対応したり、係で対応できる範囲を拡大するなど、職員の業務に支障をきたさないような対応をしたい。	A～Eの5段階評価 A100点 6 B75点 9 C50点 1 D25点 0 E0点 0		82.81		
					係数		
					25		
					点数		
20.70							
評価	個別点数	37.50 ／50点	19.92 ／25点	20.70 ／25点	＝	総合評価	78.12点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_4_情報通信技術 ICT_の推進	
	施策の方向性	施策_12_情報教育の推進			担当課	学校教育課(生涯)	
PLAN	取組内容	・学校での情報教育の推進はもとより、公民館をはじめ様々な機会を捉えたパソコン教室の開催など、情報教育の推進を図ります。					
	改革項目名称	ICT教育環境の整備推進					
	期待される効果	ICT教育環境の充実を図ることにより、児童・生徒の授業における理解を深め、学力向上につなげる。また、町民の情報スキルの向上により、生活の質の向上や福祉の増進に寄与する。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・整備スケジュールの決定	・先進地の視察等による調査・研究	・学校における機器等メニューの洗い出し ・学校における機器等仕様の決定 ・社会教育施設における学習拠点の移設及び機器の入れ替え	・学校における機器の入れ替え ・学校におけるICT機器の活用による授業の実施 ・ICT機器のより有効的な活用の研究	・ICT機器のより有効的な活用の研究	
	計画段階	研究		研究	改革	改革	改善
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。			取組状況指数	
		C 一部取り組めている	平成31年度の小中学校コンピュータ教室の機器入れ替えに向けたスケジュールの検討を行った。			75	
						係数	
						50	
						点数	
				37.50点			
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			課題の捉え方	評価指数	
		他の係や教職員と協力し合いながら進めていかなければならなく、協力体制を整えることが必要である。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 7 C50点 4 D25点 3 E0点 0	62.5	
					係数		
					25		
					点数		
				15.63			
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方	評価指数	
		教職員にも協力いただき、学校現場の状況や要望の把握に努めていく。			A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 7 C50点 6 D25点 3 E0点 0	56.25	
					係数		
					25		
					点数		
				14.06			
評価	個別点数	37.50	15.63	14.06	≡	総合評価	67.19点
		／50点	／25点	／25点			／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進	
	施策の方向性	施策_13_効率・効果的な行政運営の確立			担当課	住民課(全課)	
P L A N	取組内容	・BPRの手法やICTの活用など、新たな業務改善方法を研究していくことで、町民サービスに直結する窓口業務の見直しや効率化を図り、時代に対応した行政サービスに取り組んでいきます。					
	改革項目名称	新たな業務改善方法の研究					
	期待される効果	多様化・複雑化する住民ニーズに対し、より利便性の高いサービスを効果的・効率的に提供する。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	窓口における待ち時間の削減、手続きの簡素化及びわかりやすい窓口体制の実現について研究を行う。	前年の研究結果による窓口体系に準拠した事務の流れを整理し、無駄で無理のない体制の研究を行う。	前年の研究結果を基に、現況の総合窓口方式と職員出張方式の複合から、双方の割合の見直しを含め、より利便性の高い窓口業務方式を実施する。	住基システムの改善や福祉関係システム・保健システム等との情報連携による効率化の推進、また、マイナンバー制度については国の動向を注視し活用を検討する。	業務内容を再精査し、定型的業務などで外部委託の検討を進め、業務の効率化に最適な人員配置の研究を進める。	
	計画段階	研究		研究	改革	改善	改善
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	窓口での事務処理は、正確性とスピード化がもとめられているため、混雑時にも職員一人ひとりがお互いを助け合いながら、来庁者を待たせることのないように対応をし、また、内容の把握と迅速な対応に心がけ、相手の話をよく理解し、わかりやすい説明に努めた。				75
							係数
							50
							点数
37.50点							
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。		課題の捉え方		評価指数	
		証明発行の申請書について、書き方がよくわからない、字が小さくて見にくいなどの意見を受け、係員全員で検討と見直しを図った。		A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 7 C50点 7 D25点 0 E0点 0		67.19	
				係数			
				25			
				点数			
16.80							
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。		改善方法の示され方		評価指数	
		業務上のミス防止に向け、マニュアルの作成、見直しをすることで、新たな問題点を係員全員で話し合い改善する手立てを見つけて円滑な業務に取り組むようにする。		A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 7 C50点 6 D25点 0 E0点 0		70.31	
				係数			
				25			
				点数			
17.58							
評価	個別点数	37.50 ／50点	16.80 ／25点	17.58 ／25点	＝	総合評価	71.88点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進		
	施策の方向性	施策_13_効率・効果的な行政運営の確立			担当課	生涯学習課		
PLAN	取組内容	・社会教育事業を効率よく推進するため、社会教育施設間の連携強化はもとより、事業の統合や事務の効率化を図ります。						
	改革項目名称	社会教育事業における効率化の推進						
	期待される効果	社会教育施設間の連携強化及び事業・事務の効率的な運営						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・社会教育施設間における連携強化策の検討 ・事業・事務の効率化の検討	・年間予定表への迅速な事業入力 ・次年度事業計画案の早期作成検討 ・中央公民館を核とした事業・事務の効率的な運営の検討	・次年度事業計画案の早期策定による事業・事務の効率化の実施	・社会教育施設間の連携強化及び事業・事務の効率化のさらなる見直し・改善	・社会教育施設間の連携強化及び事業・事務の効率化のさらなる見直し・改善		
	計画段階	研究 研究 改革 改善 改善						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	館長・係長会議やJOY会議(担当者レベルの事業等広報についての調整会議)を定期的に開催し、その中の議題として施設間の連携強化と事務の効率化についても検討を行ってきた。特に、施設間で同じような時期に同じような事業を組まないよう、必要に応じて3館の館長による調整会議を開催した。				75	
							係数	
							50	
点数	37.50点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。				推進本部評価欄		
		それぞれの施設で実施する事業について、他の施設の事業と時期や内容がかぶらないように効率的に実施する必要がある。しかし、日程や内容などについてはある程度講師との間で具体化しないと調整がつかない一方で、決まってしまうからの変更や調整は難しいため、なかなか調整が機能しない。				課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 9 C50点 3 D25点 1 E0点 0	71.88	
							係数	25
点数	17.97							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方		
		それぞれの施設で同じような事業を行うのではなく、最初から分野や対象者などを分けて、それぞれ特徴を持たせた事業計画を策定することで、調整をしやすくする。そのための、施設毎の性格付けや役割分担を検討していく。				A～Eの5段階評価 A100点 7 B75点 7 C50点 2 D25点 0 E0点 0	82.81	
							係数	25
							点数	20.70
評価	個別点数	37.50 ／50点	17.97 ／25点	20.70 ／25点	＝	総合評価	76.17点 ／100点	

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進	
	施策の方向性	施策_14_機能的な組織の構築と職員の資質向上			担当課	総務課(企画)	
PLAN	取組内容	・時代の変化に適応した組織機構とするため、機構改革や人員配置について検証を進めるとともに、窓口・電話対応の接遇研修など計画的な職員研修の充実による政策能力等の育成と人事・定員管理を推進します。					
	改革項目名称	効果的な職員研修等による人材育成と適正な人員管理の推進					
	期待される効果	研修等により職員のスキルアップを図り、住民対応の向上や適正な人員管理が期待される					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	職員研修計画を基に、職員へ情報提供をするとともに、より効果的な職員研修を研究していく。	町主催の研修を積極的に企画し、職員の意識向上を図るとともに、職員アンケート等を実施し職員ニーズを把握する。	職員ニーズも考慮しながら効果的な職員研修を実施していく。	前年度までの実績を考慮しながら、より効果的な職員研修計画を作成するとともに、職員の適性を見極め、適正な人員配置に努める。	職員研修計画の改善を図りながら、より効果的な研修等を実施しながら人材育成を推進していく。	
	計画段階	研究 研究 改善 改革 改善					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		C 一部取り組んでいる	県や町村会主催の研修会へ職員を派遣したり、町独自で接遇研修などを実施して職員の資質向上を図った。また、各所属長から職場の問題点等を聞き改善に努めた。				75
							係数
							50 点数 37.50点
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			課題の捉え方		評価指数
		日常業務に追われ、研修に参加したくても参加出来ない職員が見受けられた。研修内容に関係する職場については、受講するように指導する必要がある。			A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 8 C50点 6 D25点 1 E0点 0		64.06
							係数
							25 点数 16.02
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数
		研修内容に関係する職場については、受講するように指導したり、町独自の研修も行い出席しやすいように工夫する。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 6 C50点 7 D25点 1 E0点 0		64.06
							係数
							25 点数 16.02
評価	個別点数	37.50 ／50点	16.02 ／25点	16.02 ／25点	＝	総合評価	69.54点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進	
	施策の方向性	施策_14_機能的な組織の構築と職員の資質向上			担当課	総務課	
PLAN	取組内容	・人事評価制度を活用して、職員の仕事に対する意欲、向上心、達成感を引き出し、意識改革を図ります。職員一人ひとりの意欲を向上させることにより、組織全体を活性化させます。					
	改革項目名称	人事評価制度を活用した人材育成と組織の活性化					
	期待される効果	職員一人ひとりが明確な目標を持って仕事に取り組むことによって仕事の効率化が期待できる。また、面談等を実施することによって組織の意思疎通が図れる。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	人事評価制度の本格実施と職員アンケートの実施	人事評価制度の検証と職員アンケートの実施	より効果的な人事評価制度への見直し	人事評価制度の検証と職員アンケートの実施	人事評価制度の検証と職員アンケートの実施	
	計画段階	研究 研究 改革 改善 改善					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。			取組状況指数	
		C 一部取り組んでいる	人事評価制度の本格実施と職員アンケートを実施し問題点等の検証を行った。			50	
						係数	
						50 点数 25.00点	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			課題の捉え方	評価指数	
		人事評価制度において、評価者の均一的な評価結果を確保するとともに、いかに職員のモチベーションを上げられるかが難しい。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 10 C50点 3 D25点 1 E0点 0	70.31	
						係数	
						25 点数 17.58	
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方	評価指数	
		定期的に研修やアンケートを実施し、職員へ人事評価制度の浸透を図るとともに、問題点を検証し、職員へのモチベーション向上に努めたい。			A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 11 C50点 4 D25点 0 E0点 0	70.31	
						係数	
						25 点数 17.58	
評価	個別点数	25.00 ／50点	17.58 ／25点	17.58 ／25点	＝	総合評価	60.16点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進		
	施策の方向性	施策_15_計画的な事業の執行と行政評価の推進			担当課	企画課		
PLAN	取組内容	・総合計画等の長期計画に基づき、選択と集中による計画的な事業を推進するとともに、基本計画と予算編成の連動を図ります。また、行政評価システム の導入による検証と行政評価を推進します。						
	改革項目名称	行政評価の推進						
	期待される効果	従前の予算決算等のサービス量の効果検証から、事業の達成目標・アウトカム(成果)など、客観的・定性的な指標設定による効果検証に切り替えることにより、事務事業の見直し・改善と住民への説明責任を果たす。						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・ 行政評価先進自治体の調査研究 ・ 国の補助事業である地方創生先行型事業に対して外部検証を実施する。	・ 行政評価先進自治体の調査研究	・ 先進自治体の調査研究 ・ 基本理念等・内規及び評価様式を作成する。 ・ 職員に内容を周知する。	・行政評価を住民に周知し行政評価を本格実施する。	・ 行政評価をより効果的な実施が行えるよう改善実施する。		
	計画段階	研究		研究	研究	改革	改善	
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		A 計画どおり取り組んでいる	行政評価先進自治体及び同規模自治体の行政評価事業に対し調査研究を行った。 また、国の補助事業を活用した3つの地方創生先行型事業に対し、産業団体(JA・邑楽町商工会)、教育機関(邑楽町校長会会長)、金融機関(群馬銀行)、労働団体(カルソニックカンセイ労組群馬分会)及び学識経験者(3団体3名)に外部検証を依頼し、外部検証結果を職員に周知する。				100	
							係数	50
							点数	50.00点
							推進本部評価欄	
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。		課題の捉え方	評価指数			
		当町では、PDCAサイクル及び評価が明文化された中で実行されていないため、まず職員のPDCAサイクル及び評価に対する認識及び必要性に対する意識の欠如。		A～Eの5段階評価 A100点 6 B75点 6 C50点 4 D25点 0 E0点 0	78.13			
					係数	25		
					点数	19.53		
					推進本部評価欄			
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。		改善方法の示され方	評価指数			
		総合計画・総合戦略・行政改革は全課において、PDCAサイクル及び内部評価を実施し、従来の予算執行額の多寡で事業評価を行っていたものを、KPIなどの目標達成度で事業評価を行っていく事を周知徹底する。		A～Eの5段階評価 A100点 7 B75点 4 C50点 5 D25点 0 E0点 0	78.13			
					係数	25		
					点数	19.53		
					推進本部評価欄			
評価	個別点数	50.00 ／50点	19.53 ／25点	19.53 ／25点	＝	総合評価	89.06点 ／100点	

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進	
	施策の方向性	施策_16_公共施設の適正な管理			担当課	総務課	
PLAN	取組内容	・人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、「公共施設等総合管理計画」を策定し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現します。					
	改革項目名称	公共施設等総合管理計画の策定、個別施設計画の策定					
	期待される効果	公共施設の最適な配置計画が検討できる。施設更新にかかる財政負担を平準化できる。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	公共施設等総合管理計画の策定	・公共施設総合管理計画の実行(予防的維持管理の実施) ・予防的維持管理をするために必要な情報を収集して、個別管理計画策定するための準備	・公共施設総合管理計画の実行(予防的維持管理の実施) ・予防的維持管理をするために必要な情報を収集して、個別管理計画策定するための準備	・公共施設総合管理計画の実行(予防的維持管理の実施) ・予防的維持管理をするために必要な情報を収集して、個別管理計画を策定する	・公共施設総合管理計画の実行(予防的維持管理の実施) ・予防的維持管理をするために必要な情報を収集して、個別管理計画を策定する	
	計画段階	改革 研究 研究 改善 改革					
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		A 計画どおり取り組んでいる	公共施設等総合管理計画の策定を行った。				100
							係数
							50
	点数	50.00点					
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			課題の捉え方	評価指数	
		個別管理計画の策定まで行うことができていない状況であるため、長期的な視点で財政負担の平準化が出来ていない。	A～Eの5段階評価 A100点 8 B75点 6 C50点 2 D25点 0 E0点 0	84.38			
					係数		
					25		
	点数	21.10					
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方	評価指数	
		個別管理計画の策定を平成29年度から依頼していく予定。維持管理費等の考え方を統一するため、考え方を示していく必要がある。	A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 6 C50点 6 D25点 0 E0点 0	71.88			
					係数		
					25		
	点数	17.97					
評価	個別点数	50.00 ／50点	21.10 ／25点	17.97 ／25点	＝	総合評価	89.07点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_5_効率・効果的な行政運営の推進	
	施策の方向性	施策_17_民間活力の活用			担当課	企画課(全課)	
PLAN	取組内容	・行政事務や施設管理のあり方について検証を行い、効率・利便性を考慮したうえで、定型業務の民間委託や公の施設の指定管理者制度などの活用を研究していきます。また、PPP/PFIなどの手法を研究し、民間活力の活用を推進していきます。					
	改革項目名称	民間活力の活用					
	期待される効果	民間活力を研究・導入することにより効率効果的な行政運営が可能になる					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	先進自治体の調査研究	先進自治体の調査研究	民間委託することで、より効率的に実施できる業務の洗い出し	民間委託することで、より効率的に実施できる業務の洗い出し	民間委託可能業務の具体的な検討を行い、委託業者を選定し実施する。	
	計画段階	研究		研究	研究	研究	改革
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取組んでいる	PPP/PFIを中心に先進自治体の調査研究を行った。 また、広告入り公用封筒の作成及び無償提供に関する協定書を(株)郵宣協会と締結し、これまで公費負担していた公用封筒を無償で取得することができた。				75
							係数
							50 点数
37.50点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			課題の捉え方	評価指数	
		PPP/PFIについて、県下及び当町と同規模自治体での実施件数が少ないため、情報が少なく各課検討に苦慮している。			A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 6 C50点 5 D25点 1 E0点 0	70.31	
						係数	
						25 点数	
17.58							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方	評価指数	
		PPP/PFIと従来の委託契約での事業実施におけるメリットデメリット等、各課に情報提供に努めていくとともにセミナー等の参加を促していく。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 8 C50点 5 D25点 1 E0点 0	67.19	
						係数	
						25 点数	
16.80							
評価	個別点数	37.50 ／50点	17.58 ／25点	16.80 ／25点	＝	総合評価	71.88点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保	
	施策の方向性	施策_18_計画的な財政運営			担当課	総務課	
PLAN	取組内容	・中長期的視野に基づいた継続的な収支均衡と義務的経費や経常的経費の節減、財政状況の分析、補助金の見直しも含めた事務事業の慎重な選択など健全な財政運営を推進します。また、財政状況を定期的に公開し透明性の高い予算執行に努めます。					
	改革項目名称	住民に開かれた財政運営					
	期待される効果	財政分析や事務事業の見直しを行うことにより、健全な財政運営を行う。住民の町財政への関心を高める。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・財政分析の実施による財政の健全性の検討 ・補助金等審査委員会による新規補助金の検討 ・財政状況の公表方法の検討	・財政分析の実施による財政の健全性の検討 ・補助金等審査委員会による新規補助金の検討 ・財政状況の公表方法の検討	・財政分析の実施による財政の健全性の検討 ・補助金等審査委員会による新規補助金の検討 ・財政状況の公表方法の検討	・財政分析を活用した財政計画の作成 ・補助金等審査委員会による新規及び既存補助金の審査・見直し ・財政状況の公表方法の検討	・財政計画による予算執行 ・補助金等審査委員会による新規及び既存補助金の審査・見直し ・財政状況の公表方法の検討	
	計画段階	研究		研究	研究	改革	改革
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		C 一部取り組んでいる	補助金審査委員会において、新規補助金の審査及び既存補助金の改正・廃止について検討を行った。広報により財政状況の報告を行った。				50
							係数
							50 点数 25.00点
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。				推進本部評価欄	
		財政分析を基にした財政の健全性の検討については、行うことが出来なかった。				課題の捉え方	評価指数
						A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 5 C50点 7 D25点 3 E0点 0	56.25
							係数 25 点数 14.06
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方	
		財政分析による、健全性の指標等について検討を行い、邑楽町財政計画を策定する。また、財政状況の公表についても、住民にわかりやすく興味を持ってもらう工夫を行う。				A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 8 C50点 7 D25点 1 E0点 0	
						60.94	
						係数 25 点数 15.24	
評価	個別点数	25.00 ／50点	14.06 ／25点	15.24 ／25点	＝	総合評価	54.30点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保	
	施策の方向性	施策_18_計画的な財政運営			担当課	総務課	
P L A N	取組内容	・地方公会計の整備を図ることにより、資産や債務の正確な把握と管理を行い、予算編成や決算分析に活用していくとともに、財務情報の分かりやすい開示に努めます。					
	改革項目名称	新地方公会計基準の財務書類作成					
	期待される効果	地方公会計の整備を図ることにより、資産や債務の正確な把握と管理を行い、予算編成や決算分析に活用していくとともに、財務情報の分かりやすい開示が行える					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・新地方公会計基準の財務書類作成のためのシステム環境整備(PC購入、ソフトウェアDL、初期設定)、固定資産台帳の整備を行う。 ・複式簿記の研修に参加し知識を高める	・新地方公会計基準の財務書類作成・公表	・新地方公会計基準の財務書類作成を継続する ・作成した新地方公会計基準の財務書類を自団体の予算編成や財政分析に役立てる。	・新地方公会計基準の財務書類作成を継続する ・作成した新地方公会計基準の財務書類を自団体の予算編成や財政分析に役立てる。	・新地方公会計基準の財務書類作成を継続する ・作成した新地方公会計基準の財務書類を自団体の予算編成や財政分析に役立てる。	
	計画段階	研究 改革 改善 改善 改善					
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		C 一部取り組めている	財務書類作成のための環境整備を行った。複式簿記の研修に参加し、見識を高めた。				50
							係数
							50
							点数
25.00点							
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			推進本部評価欄		
		固定資産台帳の整備を完了することが出来なかった。			課題の捉え方	評価指数	
					A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 6 C50点 7 D25点 3 E0点 0	54.69	
						係数	
						25	
点数							
13.67							
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数
		固定資産台帳の整備を行い、平成29年度末までに新地方公会計基準の財務書類の作成を行う。			A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 8 C50点 5 D25点 2 E0点 0	62.50	
		係数					
		25					
		点数					
15.63							
評価	個別点数	25.00 ／50点	13.67 ／25点	15.63 ／25点	＝	総合評価	54.30点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保	
	施策の方向性	施策_18_計画的な財政運営			担当課	安全安心課	
PLAN	取組内容	・下水道事業の経営基盤強化や財政マネジメントの向上に向けて、公営企業会計の導入について調査・研究していきます。					
	改革項目名称	下水道事業の公営企業会計導入に係る体制の整備					
	期待される効果	公営企業会計導入を見据えた体制の整備を事前に行うことで、将来的に導入となるような場合に確実に効率的な導入をすることができる。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	近隣市町村の公営企業会計の導入実績等の調査研究	近隣市町村の公営企業会計の導入実績等の調査研究	同規模自治体の先進的な導入実績等の調査研究	公営企業会計導入へ向けた準備	公営企業会計に関する研修会等に参加し知識を高めていく	
	計画段階	研究		研究	研究	改革	改善
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		D あまり取り組めていない	公営企業会計導入予定の近隣市町の状況調査				25
							係数
							50
							点数
12.50点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。				推進本部評価欄	
		公営企業会計に関する知識が乏しく、近隣市町の担当とのやり取りに苦慮した。				課題の捉え方	評価指数
						A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 6 C50点 6 D25点 2 E0点 0	62.5
							係数
							25
15.63							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方	
		国、群馬県及び下水道協会等が主催する研修会等に参加し、知識を習得する。				A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 5 C50点 9 D25点 2 E0点 0	54.69
							係数
							25
							13.67
評価	個別点数	12.50 ／50点	15.63 ／25点	13.67 ／25点	＝	総合評価	41.80点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保	
	施策の方向性	施策_19_財源_歳入_の確保			担当課	税務課	
P L A N	取組内容	・適正な税の賦課に努めるとともに、個人住民税の特別徴収一斉指定及び口座振替の推奨など納税者の利便性を確保し収納率の向上を図ります。また、長期滞納者や高額滞納者などについては、納税への理解促進を図るとともに、「群馬県東部地区不動産合同公売」などを活用し適切な滞納処分を行います。					
	改革項目名称	個人住民税の特別徴収一斉指定の開始					
	期待される効果	納税方法の法令遵守の実施及び個人住民税の収納率の向上					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・県内市町村で構成するワーキンググループへの参加 ・課題の洗い出し、調整 ・システム等の準備 ・指定予告通知書の発送	・個人住民税の特別徴収一斉指定開始 ・新規事業所への発送、対応 ・未納事業所への電話催告等の実施	・問題点の確認、改善策の検討 ・未実施事業所への取組み ・他市町村との情報共有	・問題点の確認、改善策の検討 ・未実施事業所への取組み ・他市町村との情報共有	・問題点の確認、改善策の検討 ・未実施事業所への取組み ・他市町村との情報共有	
	計画段階	研究 改革 改善 改善 改善					
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		A 計画どおり取り組んでいる	県内市町村で構成するワーキンググループに参加し、事務処理や様式などの調整を進めた。また、事業所や普通徴収該当者へのチラシの配布や、広報への記事掲載、該当事業所への指定予告通知書の発送など周知活動を行った。				100
							係数
							50 点数 50.00点
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。				課題の捉え方	評価指数
		チラシや通知の配布、広報掲載などの周知を行ったが、全ての該当事業所や該当納税義務者へ事業内容を伝えきれていないと思われる。				A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 11 C50点 3 D25点 0 E0点 0	73.44
						係数	
						25 点数 18.36	
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方	評価指数
		平成29年度は実施初年度となることから、周知不足による問い合わせなどが増えると思われるが、県とも連携しながら、さらなる周知や丁寧な対応に取り組む。				A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 7 C50点 5 D25点 1 E0点 0	68.75
						係数	
						25 点数 17.19	
評価	個別点数	50.00 ／50点	18.36 ／25点	17.19 ／25点	＝	総合評価	85.55点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_19_財源_歳入_の確保			担当課	総務課		
PLAN	取組内容	・国や県の資金の導入、有利な地方債の活用等を図り、一般財源の充当を抑制します。						
	改革項目名称	活用できる資金や地方債の掘り起こし						
	期待される効果	交付金や有利な地方債を活用することで、一般財源の確保につながる						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・活用できる資金の掘り起こし及び起債の活用方法の検討	・活用できる交付金事業への変更方法の検討 ・地方債の検討	・既存事業の見直しや新規事業における交付金、有利な地方債の掘り起こし ・地方債の検討	・既存事業の見直しや新規事業における交付金、有利な地方債の掘り起こし ・地方債の検討	・既存事業の見直しや新規事業における交付金、有利な地方債の掘り起こし ・地方債の検討		
	計画段階	研究 改革 改善 改善 改善						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		C 一部取り組んでいる	新規事業における国費等の導入及び地方債等の活用の検討を行った。地方創生加速化交付金の取り組み検討を行った。				50	
							係数	
							50	
							点数	
25.00点								
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。		課題の捉え方		評価指数		
		既存事業の掘り起こしを行うまでには至らなかった。		A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 4 C50点 7 D25点 4 E0点 0		53.13		
						係数		
						25		
						点数		
13.28								
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。		改善方法の示され方		評価指数		
		活用できる交付金等の事業再検証を行い、一般財源の充当を抑制する。有利な地方債の検証と、繰上げ償還等の検討を行う。		A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 9 C50点 4 D25点 1 E0点 0		68.75		
						係数		
						25		
						点数		
17.19								
評価	個別点数	25.00 ／50点	13.28 ／25点	17.19 ／25点	＝	総合評価	55.47点 ／100点	

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_19_財源_歳入_の確保			担当課	企画課		
P L A N	取組内容	・広告事業などによる収入の確保を図ります。						
	改革項目名称	新規広告事業創設						
	期待される効果	既存広告事業による収入の確保及び新規広告事業創出による支出の節減						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・本町既存広告事業の改善策の研究 ・新規広告事業研究・創出	・既存広告事業の改善策の研究 ・新規広告事業事業実施	・既存広告事業の改善策の研究 ・新規広告事業事業改善実施	・既存広告事業の改善策の研究 ・新規広告事業事業改善実施	・既存広告事業の改善策の研究 ・新規広告事業事業改善実施		
	計画段階	改革 改善 改善 改善 改善						
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		A 計画どおり取り組んでいる	広告入り公用封筒の作成及び無償提供に関する協定書を(株)郵宣協会と締結し、これまで公費負担していた公用封筒を無償提供で取得することができた。既存広告事業については、未掲載枠にて募集推進を図った。				100	
							係数	
							50	
						点数		
						50.00点		
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。				推進本部評価欄		
		既存広告事業においては、未掲載枠があり、募集推進を図ったが、全ての枠が埋まっていない状況である。未掲載枠をなくすため、広告枠以外にも募集推進を図っていく必要がある。				課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 5 B75点 10 C50点 1 D25点 0 E0点 0	81.25	
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方		
		未掲載枠をなくすため、29年度は商工会を通じて広告募集のチラシを商工業者に配布予定。広告入り公用封筒については、製作者と連携し今後も積極的に活用していく。				A～Eの5段階評価 A100点 6 B75点 9 C50点 1 D25点 0 E0点 0	82.81	
							係数	
							25	
						点数		
						20.70		
評価	個別点数	50.00 ／50点	20.31 ／25点	20.70 ／25点	＝	総合評価	91.01点 ／100点	

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保	
	施策の方向性	施策_19_財源_歳入_の確保			担当課	都市建設課(商工)	
P L A N	取組内容	・土地利用計画の調整を行い、新たな産業団地の造成を推進するとともに、雇用創出や産業振興に大きく寄与する企業誘致等を推進します。					
	改革項目名称	新産業団地の事業化への取組開始					
	期待される効果	企業を誘致することで、雇用の場が創出されるとともに、地域経済が活性化されるほか、固定資産税、法人税の税収が見込まれ、財源の確保を図ることができる。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・新産業団地の造成候補地を選定する。 (選定地区1地区・選定準備地区1地区)	・新産業団地造成候補地のうち選定地区につき、治水協議を行う。 ・農林調整、治水協議の進捗状況により、地元への意向調査及び地権者連絡協議会の立ち上げを行う。	・選定地区の市街化区域編入に向け、一般保留解除資料及び都市計画法定手続き資料の作成を行う。 ・用地買収に向け、地権者交渉を行う。	・新産業団地造成工事に着手する。	・新産業団地造成工事の完成を見込み、分譲PR活動を行う。	
	計画段階	研究		改革		改革	
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。			取組状況指数	
		A 計画どおり取り組んでいる	関係各課(商工振興課・農業振興課・都市建設課)での協議を経て、新産業団地造成候補地の絞り込みを行い、群馬県企業誘致推進本部へ提案した。			100	
						係数	
						50	
						点数	
50.00点							
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			推進本部評価欄		
		各候補地には各々課題があり、優先順位の妥当性が課題として残った。			課題の捉え方	評価指数	
					A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 7 C50点 4 D25点 2 E0点 0	67.19	
						係数	
						25	
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		
		事前調査や関係機関との事前協議により、課題をより明確にし、優先順位に妥当性を持たせる。			A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 7 C50点 3 D25点 2 E0点 0	70.31	
						係数	
						25	
						点数	
17.58							
評価	個別点数	50.00 ／50点	16.80 ／25点	17.58 ／25点	≡	総合評価	84.38点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保	
	施策の方向性	施策_20_公有財産の適正管理			担当課	総務課	
PLAN	取組内容	・公有財産については、適正な管理と利用に努め、未利用の普通財産については、処分または貸付け等の有効活用を図ります。					
	改革項目名称	財産の有効活用計画の策定					
	期待される効果	管理費の抑制及び収入の確保					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・公有財産の洗出し ・利用価値の検討 ・売買予定地の不動産鑑定	・貸付及び処分の検討 ・売り払い ・売買予定地の不動産鑑定	・貸付及び処分の検討 ・売り払い ・売買予定地の不動産鑑定	・貸付及び処分の検討 ・売り払い ・売買予定地の不動産鑑定	・管理費が掛り、資産価値の低い土地をなくし、資産を生み出す土地とすることを目指した財産の有効活用計画の策定	
	計画段階	研究		研究	研究	研究	改革
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		C 一部取り組んでいる	売買予定地の不動産鑑定を行った。公有財産の洗出しを行った。				50
							係数
							50
							点数
25.00点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。		課題の捉え方		評価指数	
		不動産の貸付及び処分を行うに当たり、不動産の利用価値を洗い出す必要がある。		A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 7 C50点 6 D25点 1 E0点 0	65.63		
					係数		
					25		
					点数		
16.41							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。		改善方法の示され方		評価指数	
		利用価値の検討を行い、長期的にみた活用計画を策定し、貸付け等による収入の確保及び管理費等の削減を行う。		A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 9 C50点 2 D25点 1 E0点 0	75.00		
					係数		
					25		
					点数		
18.75							
評価	個別点数	25.00 ／50点	16.41 ／25点	18.75 ／25点	＝	総合評価	60.16点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保			
	施策の方向性	施策_20_公有財産の適正管理			担当課	総務課			
P L A N	取組内容	・公金については、最も有利かつ確実な運用に努めるとともに、適正で効率的な出納の執行や物品などの管理を行います。							
	改革項目名称	公金の安全を図るとともに資金運用の拡大を行う							
	期待される効果	公金管理運用指針の見直しによる運用収入により、町財政の増額を確保							
	年度	H28	H29	H30	H31	H32			
	単年度計画内容	公金管理運用指針について、見直しを含め現在の環境に適応しているか郡会計部会などをおして調査研究。 ・物品の適正管理	・公金管理運用指針の見直し行う。基金の一部を決済用普通貯金から普通預金、定期預金に積替え、利息を得る。 ・物品の適正管理	公金管理運用指針について、現状の環境に適応しているかを含め、常に見直し・調査研究を行い公金の安全を図るとともに資金運用の拡大を行う。 ・物品の適正管理	公金管理運用指針について、現状の環境に適応しているかを含め、常に見直し・調査研究を行い公金の安全を図るとともに資金運用の拡大を行う。 ・物品の適正管理	公金管理運用指針について、現状の環境に適応しているかを含め、常に見直し・調査研究を行い公金の安全を図るとともに資金運用の拡大を行う。 ・物品の適正管理			
	計画段階	研究 改革 改善 改善 改善							
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。					取組状況指数	
		C 一部取り組んでいる	11月に郡会計部会を行い、事務担当者研修会にて郡内の調査・研究を行い見識を高めた。					50	
								係数	
								50	
								点数	
25.00点									
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			課題の捉え方			評価指数	
		邑楽町公金管理運用指針(平成20年11月20日作成)に基づいて運用を行っており。数年間見直しが行われていない。運用について一部変更が必要。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 6 C50点 7 D25点 1 E0点 0			64.06	
								係数	
								25	
								点数	
16.02									
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方			評価指数	
		基準そのものを常に見直し、現在の環境に適応した運用基準を作成する。			A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 7 C50点 7 D25点 1 E0点 0			62.50	
								係数	
								25	
								点数	
15.63									
評価	個別点数	25.00	16.02	15.63	＝	総合評価	56.65点		
		／50点	／25点	／25点			／100点		

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_21_経費の削減と使用料の適正化			担当課	総務課		
PLAN	取組内容	・県内市町村と電子入札システムを共同利用し、事務効率の向上や運用経費の抑制を図ります。また、公平で競争性の高い入札を推進します。						
	改革項目名称	電子入札システム推進事業						
	期待される効果	入札に係る事務手続の省力化及び入札、契約制度の透明性、公平性、競争性の向上並びに入札参加者の利便性の向上を図る。						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・役場内における契約状況調査(電子入札の実施件数、可能件数など)	・入札結果を閲覧以外に町HPで公表。 ・役場内にて、紙入札から電子入札への導入に向けた検討会を実施。	・入札参加者においても、町内建設業者について説明会(デモストレーション)実施。	・原則として、すべての工事及び設計等の工事関係の業務委託については、電子入札システムを使用した入札を実施。	・電子入札推進事業をより充実させるため、問題点を改善する。 ・物品購入も含め、順次電子入札システムにて入札を実施準備。		
	計画段階	研究 → 改革 → 改善 → 改革 → 改善						
DO	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	邑楽町における契約状況を調査し、入札実施件数を種類毎に分類し、短期間のうちに電子入札へ移行可能なものとそうでないものを区別することが出来た。				75	
							係数	
							50	
点数	37.50点							
CHECK	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。				推進本部評価欄		
		短期間に電子入札を実施していく工事の種類や委託業務、物品購入等についても役場内にて、検討会若しくは担当課と個別に協議を重ね、電子入札実施に向け障害を取り除いていく必要がある。 また、一部の経験の浅い入札参加者については不安要素があるため、指導していく必要がある。				課題の捉え方	評価指数	
						A～Eの5段階評価 A100点 8 B75点 7 C50点 1 D25点 0 E0点 0	85.94	
							係数	25
点数	21.49							
ACTION	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。				改善方法の示され方		
		入札案件で想定される指名業者に安心して応れできるように、ぐんま電子入札共同システム運営団体を積極的に活用し、町側についても不慣れな業者には個別指導する。 また、受注者向け電子入札共同システム説明会が開催されれば、積極的に参加するよう働きかける。				A～Eの5段階評価 A100点 8 B75点 7 C50点 1 D25点 0 E0点 0	85.94	
							係数	25
							点数	21.49
評価	個別点数	37.50 ／50点	21.49 ／25点	21.49 ／25点	＝	総合評価	80.48点 ／100点	

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_21_経費の削減と使用料の適正化			担当課	総務課		
P L A N	取組内容	・庁舎内の郵送料、電話料、電気料等事務的経費の節減を図るため、職員のコスト意識の向上や消耗品などの管理徹底を図ります。						
	改革項目名称	全職場における省エネの取組						
	期待される効果	職員のコスト意識の向上及び庁舎内の事務的経費の節減						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	・庁舎内各部署に省エネへの取組を依頼する。 ・庁舎内の省エネを推進する省エネ委員の選出方法等について検討する。	・省エネ委員を選出し、省エネについての検討会を実施する。 ・検討会で提案された現状からの改善点、省エネの推進方法等についてまとめる。	・検討会で提案された現状からの改善点、省エネの推進方法等を基に省エネを推進する。 ・省エネの取組状況を調査する。 ・省エネの取組状況により省エネの推進方法について改善を検討する。	・省エネについての検討会を実施する。 ・省エネの取組状況を調査する。 ・省エネの取組状況により推進方法について改善を検討する。	・検討会で提案された現状からの改善点、省エネの推進方法等を基に省エネを推進する。 ・省エネの取組状況を調査する。 ・省エネの取組状況により推進方法について改善を検討する。		
	計画段階	研究		改革		改善		改善
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	クールビズ、ノー残業デイ、夏・冬のエアコンの使用基準など省エネへの取組を職員に周知した。また、省エネ推進担当者の選出方法等を検討し、その配置については各課に置くこととした。				75	
							係数	
							50	
							点数	
37.50点								
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			推進本部評価欄			
		実施可能な省エネに関する取組がまだまだあると考えられることから、新たな取組について検討し、具体的な取組の方法等について研究する必要がある。			課題の捉え方	評価指数		
					A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 8 C50点 4 D25点 1 E0点 0	70.31		
						係数		
						25		
点数								
17.58								
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数	
		省エネ推進担当者を設置するとともに、当該担当者による会議を実施し、当該会議において新たな省エネへの取組の検討及び研究をする。			A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 10 C50点 4 D25点 0 E0点 0	71.88		
						係数		
						25		
						点数		
17.97								
評価	個別点数	37.50 ／50点	17.58 ／25点	17.97 ／25点	＝	総合評価	73.05点 ／100点	

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_6_財政運営の健全性の確保		
	施策の方向性	施策_21_経費の削減と使用料の適正化			担当課	生涯学習課		
P L A N	取組内容	・各種使用料や手数料を見直し、受益者負担を基本とした料金体系の整備を検討します。						
	改革項目名称	社会教育施設における使用料の見直し						
	期待される効果	社会教育施設に係る維持管理経費の財源確保及び利用者の当事者意識の向上						
	年度	H28	H29	H30	H31	H32		
	単年度計画内容	他市町村の事例研究 基本方針の検討 庁内関係各部署間の調整 条例・規則案の検討	条例・規則案の決定 町民・利用者への周知 議会への上程	運用開始 町民・利用者の意見聴取 運用実態や町民等からの意見を踏まえたさらなる見直しの検討	運用実態や町民等からの意見を踏まえたさらなる見直しの検討・改善	運用実態や町民等からの意見を踏まえたさらなる見直しの検討・改善		
	計画段階	研究		研究	改革	改善	改善	
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数	
		A 計画どおり取り組んでいる	生涯学習課のワーキンググループによる検討、関係各課が集まったの調整会議を開催し、基本的な方向性を確定した。また、モデルとなる条例・規則案も生涯学習課と総務課の協議により策定して、関係各課に示した。それらを教育委員会及び町議会中央公民館建設特別委員会に報告し、意見を聴取した。				100	
							係数	
							50	
							点数	
50.00点								
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			推進本部評価欄			
		これまで使用料を徴してこなかったものについて新たに徴収することになるので、その明確な根拠となる合理的な金額を確定することがもっとも大切である。また、それを利用者をはじめとして町民に説明し、納得がいくよう丁寧な対応が必要である。	課題の捉え方		評価指数			
			A～Eの5段階評価 A100点 10 B75点 6 C50点 0 D25点 0 E0点 0	90.63				
				係数				
				25				
点数								
22.66								
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数	
		決定するまでの過程においても丁寧な情報提供と意見の反映に心がけると同時に、早期に確定的な案を決定し、十分な周知期間を設けていく。	A～Eの5段階評価 A100点 10 B75点 4 C50点 2 D25点 0 E0点 0		87.50			
					係数			
					25			
					点数			
21.88								
評価	個別点数	50.00 ／50点	22.66 ／25点	21.88 ／25点	＝	総合評価	94.54点 ／100点	

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_7_広域行政の推進	
	施策の方向性	施策_22_事務組合の推進と強化			担当課	安全安心課(健福)	
P L A N	取組内容	・可燃ごみ処理施設の広域化など既存の一部事務組合を構成する市町との連携を強化するとともに、共通の行政課題への対応や、さらなる事務の効率化に向けて、効果的な共同処理のあり方など、事務組合の充実・強化に努めます。					
	改革項目名称	太田市外三町広域一般廃棄物処理施設建設に伴う住民説明会の開催					
	期待される効果	広域化を図ることにより、建設費や運営コストの削減及び環境負荷の低減や熱エネルギーの回収を図ることができる					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	・ごみの減量化及び資源化を強化する。 ・新ごみ処理施設の協議を行う。	・ごみの減量化及び資源化を強化するために、ごみ袋の有料化についての検討を行う。 ・新ごみ処理施設建設に伴う中継施設等の検討を行う。 ・制度改革に向けて調査・研究を行う。	・ごみの減量化及び資源化を強化するために、ごみ袋の有料化についての協議を行う。 ・新ごみ処理施設建設に伴う中継施設等の協議を行う。 ・制度改革に向けて協議を行う。	・ごみの減量化及び資源化を強化するために、住民説明会等を開催する。	・ごみの減量化及び資源化を更に強化するために、住民説明会等を開催する。	
	計画段階	研究		研究		研究	改革
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	新焼却施設建設についての協議を行う。				75
							係数
							50
							点数
37.50点							
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。			推進本部評価欄		
		ごみの減量化及び資源化を強化するための、ゴミ袋の有料化について			課題の捉え方	評価指数	
					A～Eの5段階評価 A100点 1 B75点 7 C50点 6 D25点 2 E0点 0	60.94	
						係数	
						25	
点数							
15.24							
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。			改善方法の示され方		評価指数
		ごみの減量化及び資源化を強化するための、ゴミ袋の有料化について研究・調査等を行う。			A～Eの5段階評価 A100点 0 B75点 6 C50点 9 D25点 1 E0点 0		57.81
		係数					
		25					
		点数					
14.45							
評価	個別点数	37.50 ／50点	15.24 ／25点	14.45 ／25点	≡	総合評価	67.19点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_7_広域行政の推進	
	施策の方向性	施策_23_広域協議会などによる連携			担当課	企画課(都建)	
P L A N	取組内容	・公共交通や都市基盤整備といった広範囲にわたり、本町だけでは解決できない課題については、既存の広域のあり方に捉われず、周辺市町及び国・県等と連携して要望活動を含めた整備促進を促します。					
	改革項目名称	広域協議会などとの連携強化					
	期待される効果	行政における諸問題について、広域で解決又は解決に向けた要望活動を行うことで、迅速効果的に整備促進を促す。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	①1市4町で運行している館林・邑楽・千代田線と町単独運航の邑楽～太田線の邑楽町役場での結節を検討 ②鉄道の乗り継ぎの改善や運行時間の延長など利用者増の施策を要望	①コミュニティバス2路線の結節に向けて、交通会議開催 ②鉄道の乗り継ぎの改善や運行時間の延長など利用者増の施策を要望	①コミュニティバス2路線の結節 ②鉄道の乗り継ぎの改善や運行時間の延長など利用者増の施策を要望	①コミュニティバスの結節後の諸問題抽出 ②鉄道の乗り継ぎの改善や運行時間の延長など利用者増の施策を要望	①コミュニティバスの結節後の諸問題解決策の検討 ②鉄道の乗り継ぎの改善や運行時間の延長など利用者増の施策を要望	
	計画段階	研究 改善 改革 改善 改善					
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		B 概ね計画どおり取り組んでいる	①コミュニティバス2路線の結節に向けて、館林・邑楽・千代田線関係自治体の事務担当者と路線別会議を開催。 ②東武鉄道本社へ小泉線と伊勢崎線の乗り継ぎの改善、急行「りょうもう号」の運行時間の延長など利用者増の施策を要望した。				75
							係数
							50
							点数
37.50点							
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。		課題の捉え方	評価指数		
		① コミュニティバス2路線の結節は、経路変更による廃止バス停が発生するため利用者(町民)の理解が必須。 ② 乗り継ぎの改善は徐々に改善されつつあるが、運行本数の増便は、需要分析の結果費用対効果が望めないとの回答。		A～Eの5段階評価 A100点 5 B75点 8 C50点 3 D25点 0 E0点 0	78.13		
					係数		
					25		
					点数		
19.53							
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。		改善方法の示され方	評価指数		
		① 2路線で乗降調査を実施し、廃止バス停の検討を進め、地域交通会議を実施する。 ② 地方の魅力を発信する事業で人の流れを都市部から地方へと作り、需要の掘り起こしをする。		A～Eの5段階評価 A100点 3 B75点 10 C50点 3 D25点 0 E0点 0	75.00		
					係数		
					25		
					点数		
18.75							
評価	個別点数	37.50 ／50点	19.53 ／25点	18.75 ／25点	＝	総合評価	75.78点 ／100点

平成28年度 第4次邑楽町行政改革大綱施策評価シート

分類	基本目標	基本目標_2_信頼に応える行財政運営のまち			基本方針	基本方針_7_広域行政の推進	
	施策の方向性	施策_23_広域協議会などによる連携			担当課	企画課	
P L A N	取組内容	・両毛地域の公共施設の相互利用をさらに促進するなど、広域協議会や広域同盟会の事務事業の充実を図ります。					
	改革項目名称	交流人口増加施策の充実					
	期待される効果	両毛広域圏の交流人口を増やすことにより、町の良さをPRし移住定住に繋げる。					
	年度	H28	H29	H30	H31	H32	
	単年度計画内容	交流人口の増加に繋げる施策の実施	交流人口の増加に繋げる施策の改善実施	交流人口の増加に繋げる施策の改善実施	・交流人口の増加に繋げる施策の改善実施 ・新規事業創設を含めた既存事業内容の見直し	交流人口の増加に繋げる施策の改善実施	
	計画段階	改善 改善 改善 改革 研究					
D O	実績及び取組状況	取組状況	今年度具体的にどのような取組を行いましたか。				取組状況指数
		A 計画どおり取り組んでいる	両毛地域への集客、地域理解の促進及び両毛地域内外の交流を図り一体的な都市圏整備の気運醸成を図るため「両毛グルメシーラリ－(参加店舗を巡ってご当地シールをもらい、その枚数によって豪華賞品に応募できるイベント)」を実施し、多くの交流人口を生み出した。 ※応募者数 1883人(前年比+1350人) ※邑楽町シール発行枚数1437枚(構成自治体中1位)				100
							係数
							50 点数
50.00点							
C H E C K	取組課題	今年度計画を取り組むうえでどのような課題がありましたか。		課題の捉え方	評価指数		
		交流人口施策として当町においては非常に有効であったが、構成自治体の中には事業実施に否定的な自治体もあった。		A～Eの5段階評価 A100点 2 B75点 8 C50点 5 D25点 1 E0点 0	67.19		
					係数		
					25 点数		
16.80							
A C T I O N	改善方法	上記課題を来年度以降どのように改善していきますか。		改善方法の示され方	評価指数		
		平成29年度は同事業を実施するため、関係自治体と連携を密にし、既存事業の問題点を洗い出し改善していく。また、既存事業にとらわれず、交流人口増の施策充実に努める。		A～Eの5段階評価 A100点 4 B75点 8 C50点 3 D25点 1 E0点 0	73.44		
					係数		
					25 点数		
18.36							
評価	個別点数	50.00 ／50点	16.80 ／25点	18.36 ／25点	＝	総合評価	85.16点 ／100点